

# 地域農業を牽引する2JA

## J A福井県

### 組織再編と体制整備を進め 持続可能な農業の明るい未来を

代表理事組合長

齊藤雅幸



【JA福井県役員】(敬称略)  
▽代表理事組合長

齊藤雅幸

▽代表理事副組合長

島崎昭彦

▽代表理事副組合長

東川継央

▽専務理事

渡辺直樹

▽常務理事

松田修昌

▽常務理事

村田昌司

▽常務理事

片川正美

▽常務理事

若林正美

▽代表常勤監事

板橋利幸

▽常勤監事

河原武教

▽常勤監事

朝倉伊知郎

▽常勤監事

駒野宏治

令和5年度は新型コロナウイルスの5類への位置づけ変更により、社会経済活動の正常化へ進める動きが活発になりました。一方で、ウクライナ侵攻や加速する円安により、生活必需品や農業生産資材など、多品目の価格高騰で家計や農業経営に大きな影響を及ぼし続けています。

このような中、JA福井県では農業者の所得拡大、農業生産の拡大を図るため、肥料価格上昇の抑制に取組むとともに、肥料高騰対策として農政連と連携し国や県などへ要請活動を行いました。園芸関係では、県域重点作物でもある白ネギを令和9年度までに「10億円産地」を目指した産地振興と事業推進の取組みをスタートしました。利用事業

では農業関連施設の長期整備計画に基づき、福井東部育苗センターを建設し、利便性の向上、稼働率の向上を目的に再編、集約に着手。共済事業では能登半島地震による被害の調査を迅速に行い、共済金の支払いをしました。

また、昨年4月にはスケールメリットを十分に発揮させるため、組織再編による事業本部制をスタートさせ、経営の効率化、コスト削減を実施し、組織機能の強化を図っております。加えて、今年1月と4月に支店再編を実施し、29支店・5出張所とし、組合員や利用者へのサービス向上、将来にわたる持続可能な組織基盤と支店力(競争力・収益力・サービス力)を高める体制整備を進めております。

JA福井県として果たすべき責任を再確認し、地域農業の振興や販売促進の強化など、持続可能な農業の明るい未来を目指して邁進する所存です。